

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

観光課（観光・地域ブランド推進課）

1 施設の概要等

施設名	矢野温泉公園四季の里		
所在地	広島県府中市上下町矢野691-2		
設置目的	すぐれた観光資源を保護し、その利用を促進して、市民の保健及び休養に資するとともに、観光事業の振興を図る。		
施設・設備	管理棟(事務室) キャンプ場 多目的広場 あやめ園 アスレチックほか		
指定管理者	R4.4.1	～	R5.3.31 一般財団法人府中市まちづくり振興公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	5,000 人	5,445 人	2,594 人	445 人	108.9%
R5						%
R6						%
R7						%
R8				-		%
増減理由	コロナ禍によるイベント中止等が無く、令和元年度ベースで再開されたため利用者は増加している。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者にアンケート調査を実施した。	施設利用者86人
	【主な意見】	【その対応状況】
	当キャンプ場を選んだ理由:自然32%、設備が充実24%、料金が安い21%	キャンプ場の基本構想及び令和5年度に実施する民間を含めた公募要件にアンケート結果を反映する。
	施設の改善等:キャンプサイト20%、トイレ15%、売店12%	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	事業報告書		
	月報	○	月次報告書		
	日報(必要随時)	○	設備の破損故障等随時		
管理運営会議		【特記事項等】			
1回	会場 公社事務所	利用状況や不具合修繕状況についての報告・提案をし、意見交換協議を行った。			
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】			
1月	2月	3月	4月	5月	修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に会議を実施している。
		○	○		
【市の対応】		あやめ祭り前の施設点検、ワーケーション施設点検等。設備の破損故障等が生じた場合は、現地調査を実施。			
6月	7月	8月	9月	10月	
○				○	
11月	12月				
	○				

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	25,570	838		R4	6,142	3,187
R5				R5			
R6				R6			
R7				R7			
R8			-	R8		-	

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	24,732	25,570	838	職員昇給等
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	0	427	427	電気料金等支援金
	計(A)	24,732	25,997	1,265	
	支出				
	人件費	13,430	14,974	1,544	職員昇給等
	光熱水費	1,427	1,834	407	電気料金高騰
	設備等保守点検費	3,445	3,228	-217	
	清掃・警備費等	0	0	0	
	施設維持修繕費	1,057	531	-526	
	事務局費	2,558	3,807	1,249	予約システム利用料増
	その他支出	1,198	1,664	466	
	計(B)	23,115	26,038	2,923	
収支①(A-B)	1,617	-41	-1,658		
自主事業					
収入(C)	1,117	1,117	0		
支出(D)	0	0	0		
収支②(C-D)	1,117	1,117	0		
合計収支(①+②)	2,734	1,076	-1,658		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
<p>総括</p>	<p>コロナ感染症の基準緩和により、3年ぶりにほぼ通常の施設運営となり、対前年度比で利用者数は伸びたが、併せて光熱水費など施設管理経費も増加している。特に、燃料・電気代等については、物価高騰もあり大幅に増加している。 檜枯れなど危険樹木の報告など事故防止に向けて市と連携を図った。 当該施設は、市の方針により令和5年度から府中市観光協会に管理が移管する。</p>	<p>施設利用者数がコロナ以前の状況に戻ることに加え、キャンプブームの継続もあり、利用者数は伸びてきている。また、予約システムの導入により利用者の増加が見られ。 キャンプ場利用者の増加に伴って、ワーケーション施設の利用者も増加してきており、更なる活用を検討する必要がある。 地元とも協力体制を築きながら各種イベントを実施するなどの運営が行われており評価できる。 日常の施設管理についても適切に行われている。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
<p>課題と対応</p>	<p>キャンプブームは、依然根強い状況で、利用者は高止まると見込まれる。 施設については、ロッジ、シャワールームなど老朽化が見られ全般的に修繕が必要な時期がきている。 管理者が変更となるので運用面とともにハード面も強化が必要。</p>	<p>根強いキャンプブームによる利用者数の増やキャンプ場が貴重な観光資源であることを踏まえ、民間のアイデアやノウハウを導入し、更なる利用者の獲得を目指す。そのため令和5年は、令和6年度からの民間管理を見据えて(一財)府中市まちづくり振興公社から(一社)府中市観光協会に管理者を移管することとした。 冬季利用や障害者利用を見据えた施設改修などが必要。</p>